
東京原水協の運動交流ニュース

原水爆禁止東京協議会

2015年11月4日 No. 604

豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館 3階

TEL 03(5395)4222 FAX 03(5395)4220

E-mail tokyo-gensuikyo@peace-21.org

11月7日(土)、原爆と人間展に参加を、2人の被爆者のお話を聞きます

台東原水協は、『原爆と人間』展のチラシを配りながら、地域の人たちに参加を呼び掛けています。全ての地域・団体から必ず参加をお願いします。

日時: 11月7日(土) 午前11時～午後4時30分

会場: 浅草公会堂1階展示ホール

(東京メトロ銀座線・都営浅草線「浅草駅」徒歩5分)

内容: ヒロシマ・ナガサキ被爆70年『原爆と人間』展

午前11時、大岩 東友会会長の話

午後3時、片山 日友会(日野市の被爆者の会)会長の話

ちひろカレンダー各地域・新婦人の大奮闘で5,304本の普及

カレンダーの普及は地域原水協から江戸川、足立、新宿、練馬、港、目黒、世田谷、大田、葛飾、武蔵野、国分寺、西東京、多摩、日野、稲城、あきる野、東村山及び八王子の奮闘で2,069本の普及です。新婦人の大奮闘で2,305本です。都教組351本等で合計5,304本の普及です。

新宿及び武蔵野はニュースでカレンダーの普及のお願いをしています

ニュースでは、「ちひろカレンダーの販売をはじめました。還元金は全額被爆者援護・連帯募金にカンパしますのでご協力ください。カレンダーの最後にちひろ美術館に無料で2人まで入れる券がついています。1年間有効で入館料は1人800円ですのでお得ですよ」と。カレンダーの普及を訴えています。

注文をしていない地域などは、至急、注文をお願いいたします。

普及にとりくんでいる地域なども、昨年を上回るとりくみをお願いいたします。

日本政府は核兵器禁止条約締結決議に棄権—おかしいぞ

国連総会の第1委員会(軍縮・国際安全保障)は2日、核兵器の非人道性を強調し、核廃絶への法的枠組みの強化を求める「人道の誓約」決議案の採決をおこない、賛成128で採択した。主な核保有国のほか、非核保有国の中でもドイツやオランダなどNATO加盟国の大半が反対。唯一の被爆国で米国の「核の傘」に守られている日本は棄権した。日本など「核の傘」に守られている国々と人道問題を重視する国々との間で分断が生じている。英国代表は「核軍縮は、我々が直面する国際安全保障と切り離せない」と主張し、段階的措置が現実的だと強調した。

佐野利男軍縮大使は、「核保有国と非核保有国が協働して進めるという日本の立場と整合が取れなかった。決議案に反対しているわけではない」と棄権の理由を報道陣に説明した。

日本政府が「被爆地訪問決議」提案

2日の国連総会第1委員会では、核兵器全廃を目指す日本提出の決議案も156か国の賛成多数で採択された。今回の決議には「今年が広島、長崎への原爆投下から70年の節目の年である」として各国の指導者や若者らに被爆地訪問を促す内容が初めて盛り込まれた。核保有国と非核保有国の「橋渡し役」を自任する日本だが、米国など核保有国の賛同は得られなかった。